

設計段階で各企業の地下埋設物の位置を掘削することなく把握できる手法を導入して、工事を円滑に進めたい！

課題



- 設計段階から、工事路線全線において、各企業の地下埋設物の位置を正確に把握することで、設計精度を高めたい
- 地上からの調査により各企業の埋設物位置を把握することで、道路掘削作業を削減したい
- 事前に地下埋設物の位置を正確に把握することで、施工段階での埋設物損傷事故を防止したい

背景

- 東京都内の道路下には、各企業（電気、ガス、電話、水道、下水道等）の管路やケーブル等が複雑に埋設されている。
- 工事に先立ち、道路を掘削して地下埋設物の調査は行っているものの、時間的制約等により、部分的な調査に留まっている。
- その結果、施工段階で設計変更や工期延伸が発生し、工事遅延の大きな要因となっている。
- また、事前の調査不足により埋設物損傷事故が発生した場合、都民生活にも影響が及ぶ

現場からのコメント



- 車道を深さ4.0m程度まで掘削する必要がある配水本管工事（新設、取替等）に適用することを想定しています

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

水道局建設部
（工務課）

配水本管工事に係る契約、設計、施工の連絡調整等を主な業務としている。